

## 参考資料2

# 第6次行田市総合振興計画の概要について



# 総合振興計画の概要

## 総合振興計画とは

- 市の将来像を定め、それに向けて市が実施する分野ごとの施策の方向性や基本的な方針、主な施策などを定めた、市の最上位計画

総合計画

分野別の個別計画

施策・事業

総合振興計画

### 福祉

健康増進・食育推進計画、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画 など

### 子育て・教育

子ども・子育て支援事業計画、教育大綱、公立学校適正規模・適正配置の基本方針 など

### 防災

地域防災計画、国土強靱化地域計画 など

### 行財政運営

行財政改革プログラム、公共施設マネジメント計画 など

環境、観光・産業 など

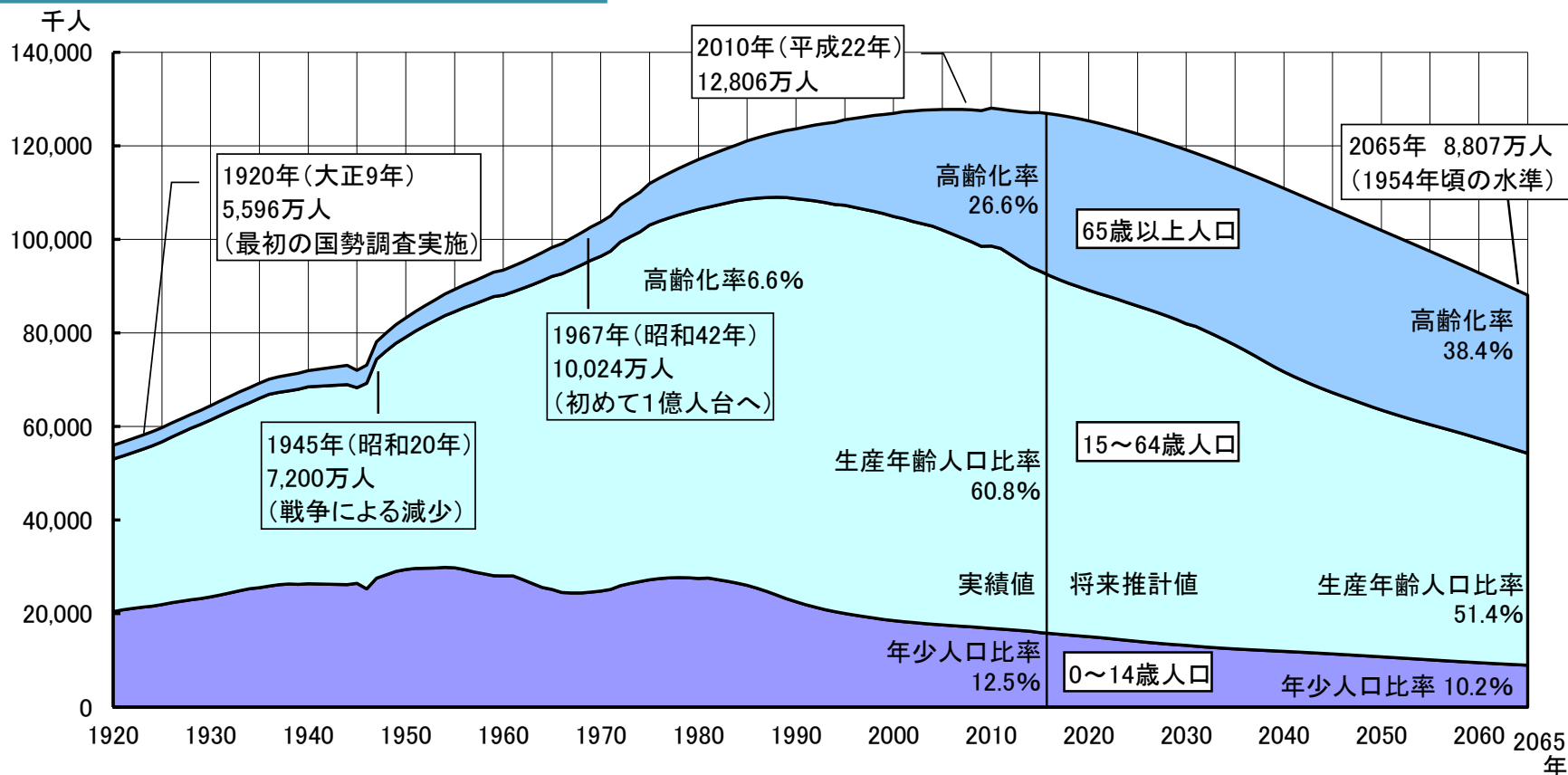
・健康づくり教室  
・特定健康診査、特定保健指導  
・介護予防事業  
・地域包括ケアシステム構築  
・シルバー人材センター運営支援 など

・保育サービス  
・学童保育室運営  
・小中一貫教育  
・ICT教育  
・公立小中学校再編成

など

# 基礎データ1

## わが国の人口推移と推計



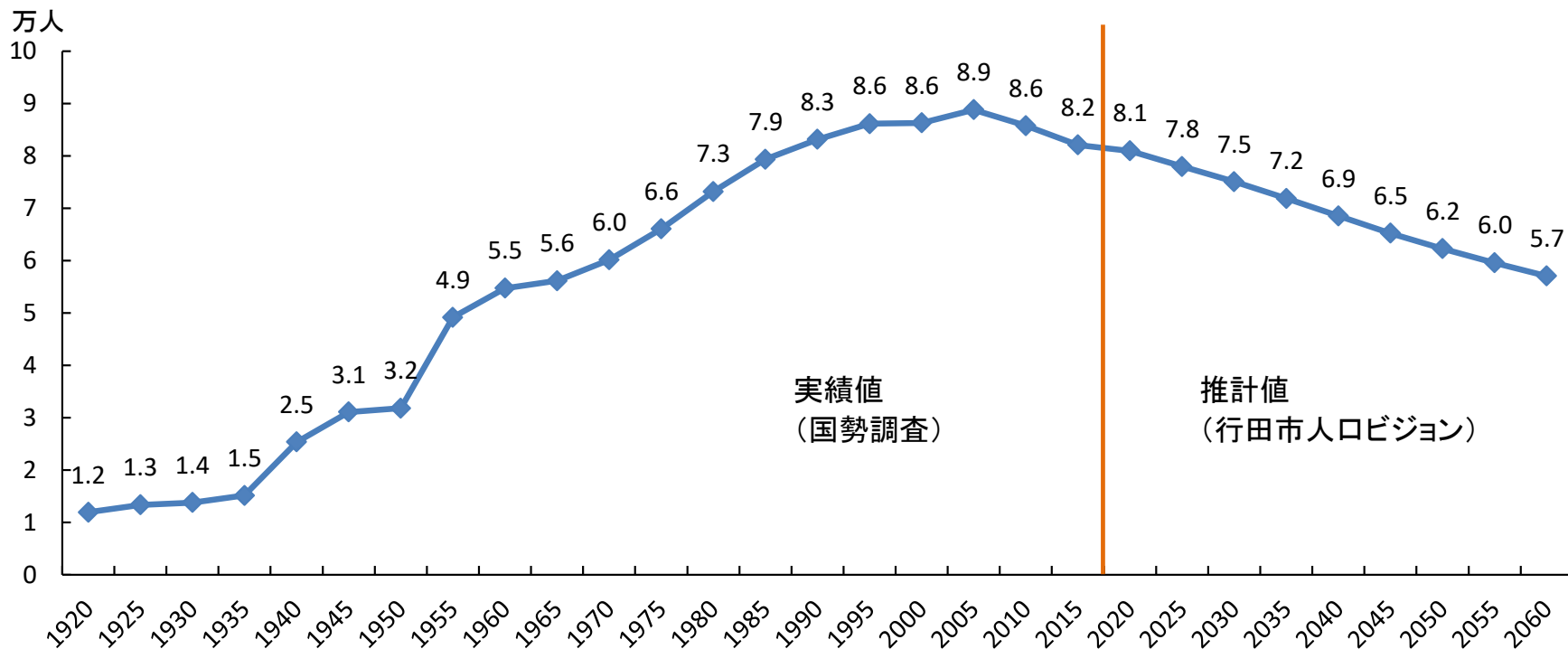
資料：2015年までは総務省統計局「国勢調査」「10月1日現在推計人口」

2016年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生中位（死亡中位）推計

注：1941～1943年は1940年と44年を中間補完、1946～71年は沖縄県を含まない。

# 基礎データ2

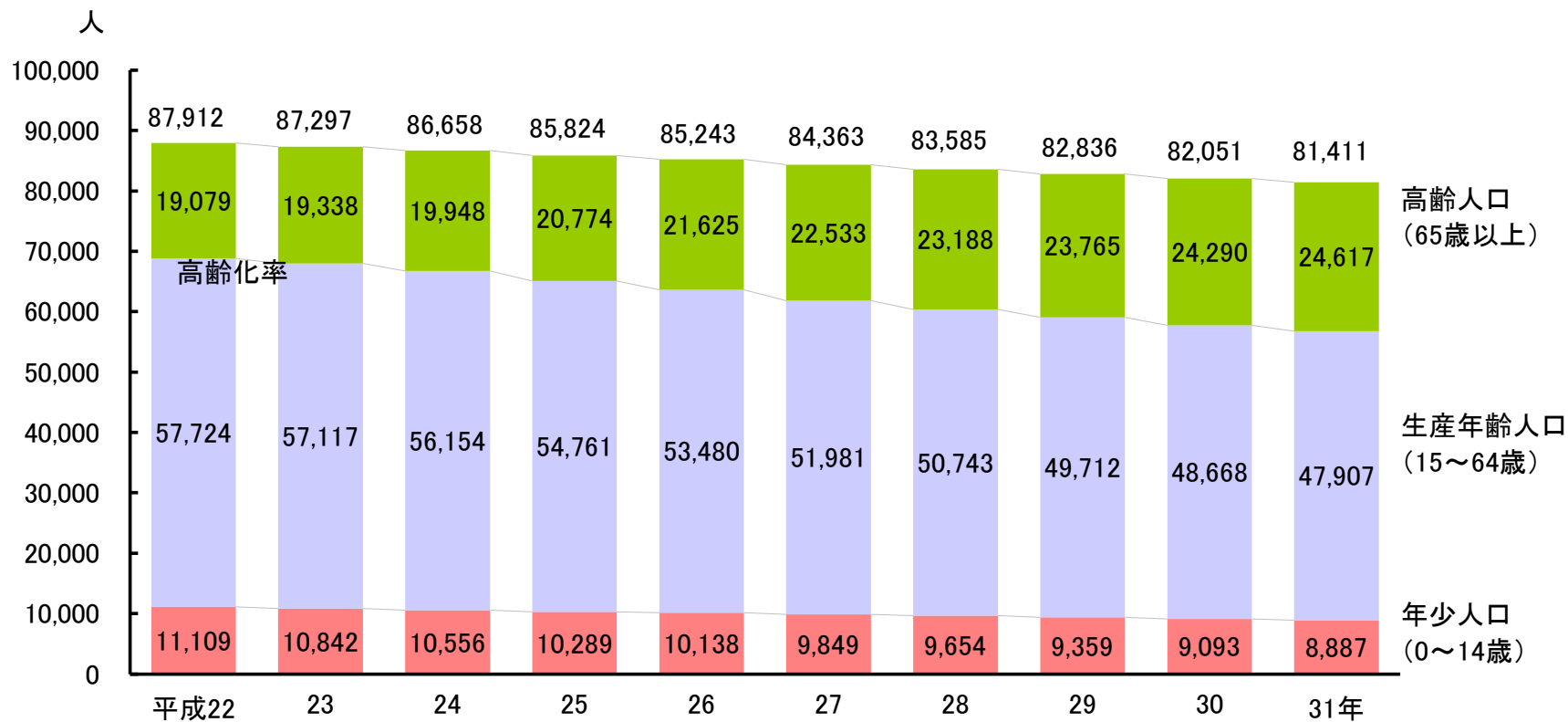
## 行田市の人口推移と推計



- 本市の人口は、戦後から高度経済成長期にかけて急増したものの、2000年頃をピークとして減少に転じ、2021年には約8万人となっている。
- 今後も人口は減少を続け、2040年には約6万9千人、2060年には約5万7千人まで減少するものと見込まれている。

# 基礎データ3

## 近年の年齢3区分別人口の推移



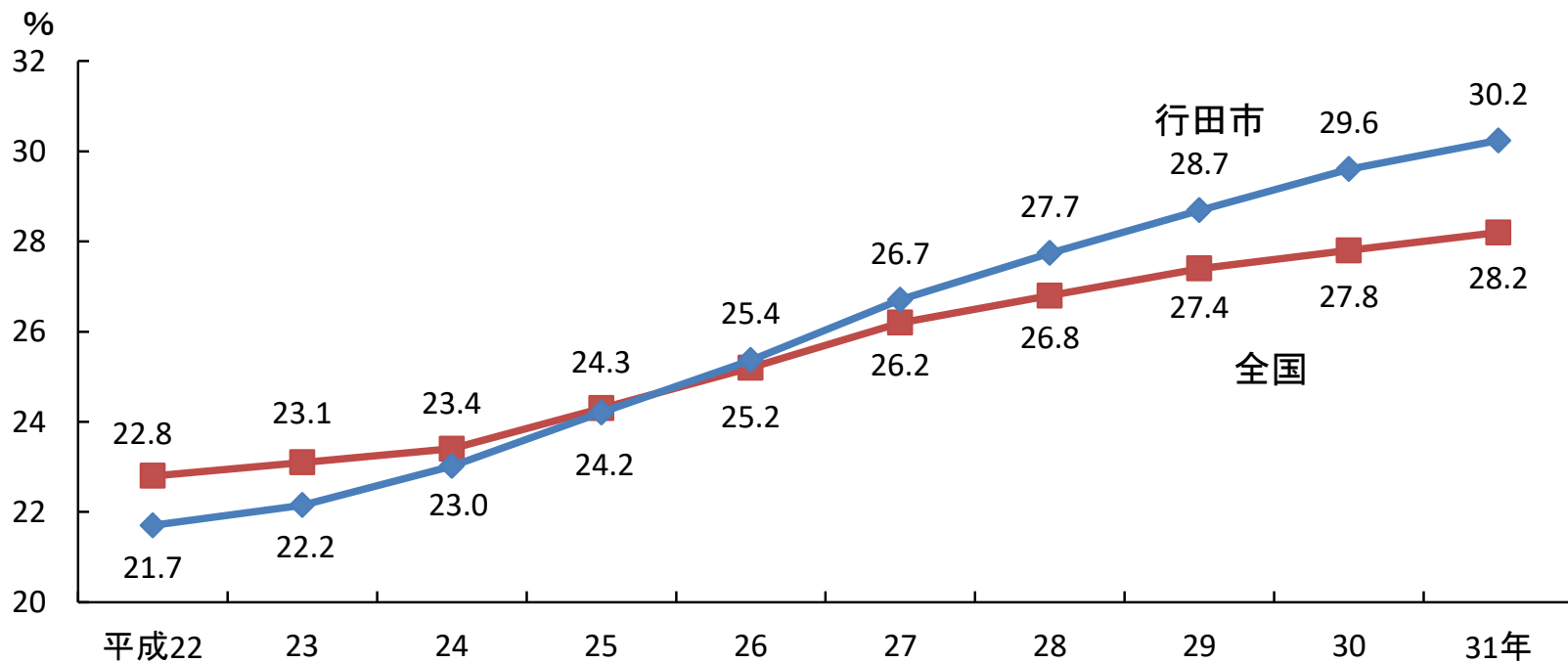
(各年1月1日現在)

資料: 埼玉県町(丁)字別人口調査

- 出生者数の減少などにより、ここ10年間で年少人口及び生産年齢人口は減少が続く一方、高齢人口は増加が続いている。

# 基礎データ4

## 高齢化率の推移



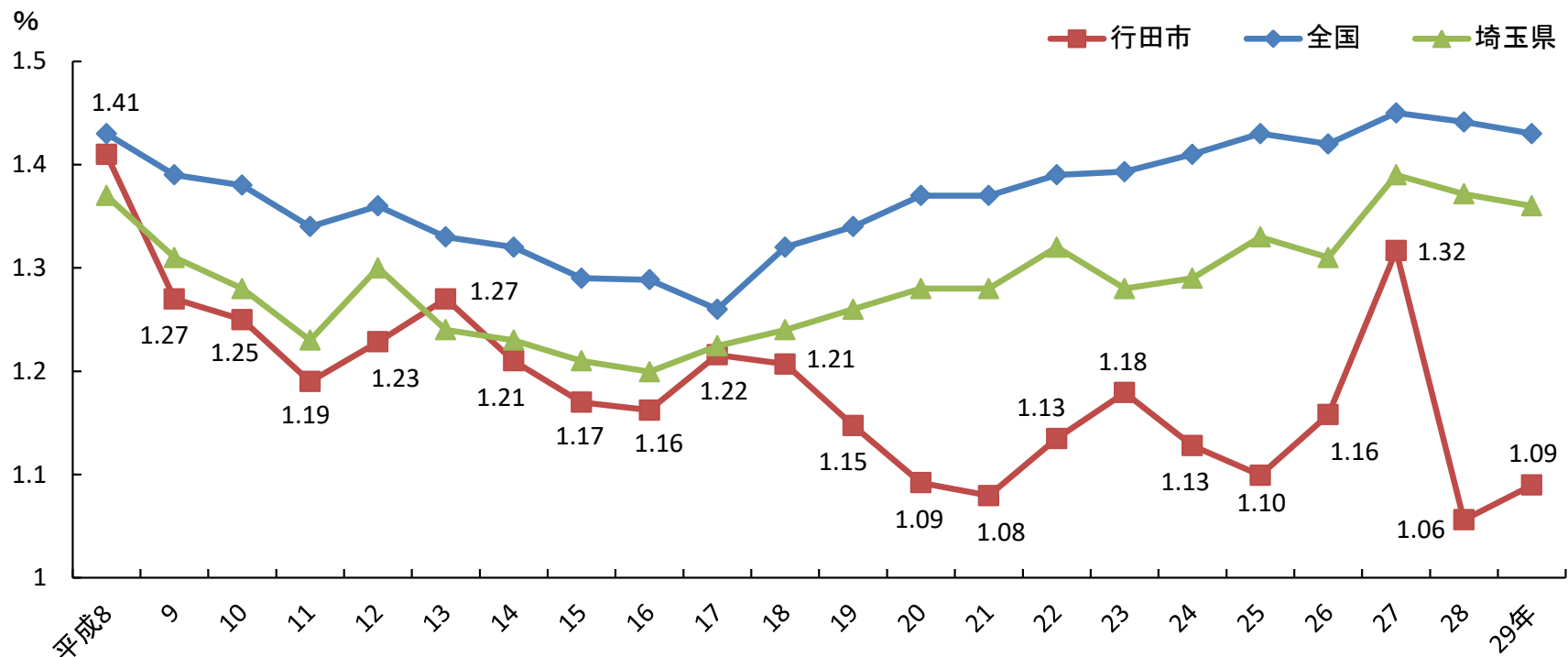
(各年1月1日現在)

資料: 埼玉県町(丁)字別人口調査

- 高齢人口の増加に伴い、高齢化率は平成26年には国平均を上回り、平成31年には30%を超えて超高齢社会になっている。

# 基礎データ5

## 合計特殊出生率の推移



資料: 埼玉県の合計特殊出生率

- 合計特殊出生率＝一人の女性が一生に産む子どもの平均数
- 特に平成18年以降、国や県と比較して低い傾向が続いている。

# これからのまちづくり

- ・人口減少(特に労働力人口の減少)
- ・少子高齢化



- ・地域経済の縮小
- ・地域コミュニティ機能の弱体化
- ・税収が減少する一方で、医療費や介護費などの扶助費は増加

**これまでの成長・拡大一辺倒から、  
持続可能な社会、地域への転換**